

第8回 レベルアップ研修会

第8回レベルアップ研修会が、令和元年8月22日(木)に、作新学院大学作新清原ホールにて224名の参加で開催されました。

講演Ⅰ「発達障害(神経発達症)に対する理解と養護教諭としての対応」

講師 作新学院大学大学院心理学研究科 作新大学人間文化学部
高浜 浩二 先生

- ・神経発達症(発達障害)の理解と関連する問題について
- ・学習障害、注意欠陥・多動症(ADHD)、自閉症スペクトラム症(ASD)の理解とその対応の工夫
- ・教職員間で共通理解を図るポイント
⇒一人一人の「特性」＝「できること」に注目
特別支援教育、教育相談、児童生徒指導との連携



参加者の感想

- ・神経発達症についての説明がわかりやすく、理解することができた。
- ・症状のことだけでなく、「養護教諭としては」「保健室では」の目線で講話をしていただき、対応の仕方がイメージできた。
- ・具体的な対応策がわかり、とても参考になった。

講演Ⅱ「起立性調節障害 ～教育現場での対応と心構えを考える～」

講師 東京医科大学茨城医療センター小児科科長 呉 宗憲 先生

- ・子どもの睡眠の実情(日本の小中高生の睡眠時間は、国際的にみて短い⇒睡眠不足を自覚していない子が多い)
- ・OD(起立性調節障害)とは
⇒「朝起きられず、夜元気なのは、ODの特徴である」「気もちようや生活習慣の是正だけでは治らない」「少しぐらい辛くてもがんばれと叱咤激励しない」「君の身体のつらさを一緒に治そう、というメッセージを伝えることが大切」
- ・OD児が学校に望むこと



参加者の感想

- ・ODに関して、こんなに詳しい説明を聞いたことがなかった。
- ・教職員に伝達し、よりよい対応ができるようにしていきたい。
- ・呉先生の話は、自分の考えを見直すよいきっかけとなった。
- ・ODについて日々、疑問に感じていたので、とても有意義だった。

今年度は例年よりも多くの先生方に参加していただきました。参加した先生方からは、「午前も午後も最新のお話を聞くことができ参考になった。」等の感想を多数お寄せいただきました。

なお、開催にあたり、作新学院大学 久津見幸男先生には、いろいろと御協力いただきました。